

かまた さとる



かまたさとるの決意

私はこれまで「フェアな政治で活力ある熊本を」「多様性を認め合う県政の実現」をモットーとして生活者目線の政策推進に向けて、自民党が圧倒的多数を占める県議会の中で、必ずしも少数の声とは言えない生活者や一生懸命に働く人たちの意見を代弁してきました。

現在、熊本県の選挙区選出の国会議員は自民党が独占しています。しかしながら全ての県民の思いがその状況に収められているとは必ずしも言えないと思います。

現在の私たちを取り巻く状況は、危機的な状況に置かれていると言えます。物価高で県民の暮らしは逼迫しています。消費税減税、ガソリンの暫定税率廃止で暮らしの負担を軽減しなければなりません。

また、半導体企業の進出で地下水の減少や工場排水による環境や健康への影響が懸念されています。農地減少によってコメなどの食糧供給への不安も高まっています。

そして、台湾有事を想定した熊本の西部方面総監部の地下基地化や長射程ミサイル配備という防衛体制強化による熊本の軍事拠点化への不安や更なる防衛費の拡大と防衛増税に歯止めをかけてほしいとの平和を願う声も多く存在します。

このような県民の切実な声を国政に届けるためには、熊本県における野党の国会議員の存在は極めて重要です。

暑い夏に向けて、今こそ政治を変える時です。私は、ブレずに徹底的に生活者重視の政策を推進してきた 26 年の県議会議員としての経験と実績、「暮らし」「水・食糧」「平和」を守りたいという県民の皆さんの思いを「大きな力」として、岩盤保守地盤の熊本県に風穴をあけるため、闘います。

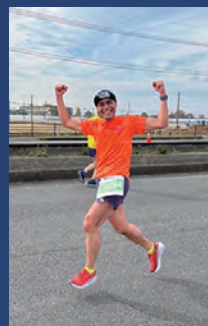
プロフィール

鎌田 聡 [かまたさとる]

- 1965年(昭和40年)1月2日 熊本市生まれ(60歳)
- 熊本市立力合小学校、城南中学校、熊本西高等学校 卒業
- 1983年 電電公社(現NTT)入社
- 1999年 熊本県議会議員 初当選(現在7期目)

主な役職

立憲民主党熊本県連 代表
熊本西高校同窓会 相談役
保護司



趣味 ランニング、サーフィン、孫と遊ぶこと





変えよう熊本 変えようみんなで。



カネで動く政治に終わりを

- 企業・団体献金の禁止
- 雇用関係を不当に利用した寄付等の制限

今すぐ物価高対策

- 食料品の消費税ゼロ
- ガソリンの暫定税率の廃止
- 中小企業の資金繰り支援
- 手取りを増やす



子ども・子育て支援をしっかりと

- 大学等の無償化と給食の無償化
- 保育士の増員と教職員の働き方改革
- 学校の耐震化、老朽化対策、防災対策、建物の断熱改修と空調設備等の整備支援
- 児童虐待、子どもの貧困、ヤングケアラー、いじめ、不登校対策などなど、
- チルドレン・ファーストの施策の実現
- 欧州諸国に比べ非常に少ない子ども子育て・教育予算を大幅に拡充
- 内密出産の法制化



ジェンダー平等・人権をまもる

- 働く男女の処遇格差の是正
- 性暴力、DVの根絶。男女の固定的性別役割分担意識をなくす
- L G B T Q、障害者、水俣病、ハンセン病等の差別・偏見をなくす
- 同性婚の法制化
- 冤罪被害を防ぐ再審法の制定
- 選択的夫婦別姓の実現



はたらく人たち・中小企業を応援

- 最低賃金の底上げと賃上げを行なう中小企業への支援
- 戸別所得補償制度の導入など農家の収入安定対策の強化
- 中小企業等が正規雇用を維持・拡大するために必要な施策を実施
- 企業・小規模事業者等が適切に価格交渉に臨める環境を整える
- 通勤手当の標準報酬月額からの除外

長年の県政課題を解決

- 水俣病患者のランク変更や物価高も踏まえた療養手当の増額など患者・被害者に寄り添う施策の実現
- 水俣病被害の全容を把握するために被害者団体が求める健康調査を早期実施して、新たな救済策を講じる
- 球磨川豪雨災害被害について市民との共同検証を行い、川辺川ダムによらない流域治水を進める



行政サービス

- 公務員のマンパワーを確保して県民サービスを維持
- D X、I C T技術活用で行政サービスの向上

安心の医療・福祉を

- 訪問介護の基本報酬引き下げの見直し
- 介護従事者の処遇改善
- 障害福祉等に係る公的支出の対GDP比をOECD平均である2%の水準へ
- 障害福祉サービス等従事者の処遇改善
- 旧優生保護法の被害者の全面救済

平和をまもる

- 軍事力に頼った抑止ではなく戦争を回避するための外交を展開
- 平和憲法を守る
- 長射程ミサイルの先行配備、熊本空港・熊本港・八代港の軍事利用などの熊本の軍事拠点化に歯止めをかける

環境をまもる

- 脱化石燃料社会の構築に向け、削減目標を引き上げ、大幅な省エネルギーと再生可能エネルギーの最大限導入
- PFAS基準値を欧米並みに引き下げて規制を強化
- PFASに対して予防原則に基づく取組みが可能となるよう法整備

交通渋滞を解消

- 公共交通の利便性確保を支援
- 熊本都市圏の渋滞解消
- J R豊肥本線の機能強化
- バス、トラックドライバーの確保

これまでに議会質問で取り上げた主な項目

- ・水俣病患者救済
- ・ハンセン病への差別偏見をなくす取り組み
- ・交通政策基本法にもとづく公共交通の維持
- ・観光振興に向けた「くまもと無料Wi-Fi」の整備促進
- ・通学路の安全対策・ゾーン30の拡大
- ・犬・猫の殺処分率の減少と動物のいのちの大切さを学ぶ取り組み
- ・県の動物管理センターを愛護センターに
- ・県内就職者への奨学金返済免除
- ・若者の雇用対策
- ・バイク振興
- ・こども食堂への支援
- ・教員の過重労働対策
- ・夜間中学の設置
- ・L G B T施策の推進
- ・再犯防止推進計画の策定
- ・定時制・通信制教育の振興
- ・県内マラソンマップの作成
- ・生活保護費受給者の中間的就労
- ・女性管理職の登用促進
- ・女性警察官の採用枠拡大
- ・公契約条例の制定
- ・育英資金の返済猶予要件の拡大
- ・犯罪被害者支援条例の制定
- ・更生保護の取り組み・保護観察者の就労支援
- ・農業試験場跡地の利活用と西熊本駅、交番、交差点の設置
- ・骨髄移植のドナー登録への助成
- ・骨髄移植後のワクチン再接種費用の助成
- ・スクールロイヤーの導入
- ・ギャンブル依存症対策
- ・ヤングケアラーの支援
- ・時給引き上げ中小企業への支援
- ・フリースクールとの連携と支援
- ・ケアリーパーへの支援
- ・AYA(思春期・若年成人)世代のがん患者の支援
- ・危険な踏切(第4種踏切)の解消
- ・若者の薬物使用対策
- ・吃音への理解促進